

# 本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために ～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～

[ 2023/06/05版 ]



## P. 01 オープニング

こんにちは、寒川町社会教育委員のXX(名前)です。  
これから私たち、図書館部会で協議した内容について、発表させていただきます。

はじめに  
子どもの読書活動は、考える力、感じる力、想像する力、表現する力などを身に付ける上で極めて重要であることから、全ての子どもたちが楽しく自主的に読書に親しむことのできる環境を整備する必要があります。

それらを踏まえて、協議テーマは、  
本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために  
～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～  
と、しました。

活動期間は、平成30年度～令和3年度までの4年間となります。  
残念ながらコロナ禍でのイベントの中止・縮小などを受けて、後半は思うように活動できませんでした。（令和4年度から少しずつ活動が再開しております。）

### 1. テーマの選定理由

## P. 02

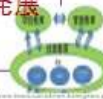
本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために何ができるか、何をすべきか…。  
町や図書館、また地域として何ができるか、何をすべきかなどについて、協議を行いました。

## 1. テーマの選定理由

本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために  
何ができるか、何をすべきか

[背景]

- ・家庭教育: 多様化する家庭環境
- ・社会教育: 社会(地域)の持続的発展
- ・学校教育: 読書活動の推進



P. 03 [ 1. テーマの選定理由]

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けるうえで欠くことのできないものです。

しかし、我が国における子どもの読書離れが言われて久しく、また本町もその例外ではありません。

本が大好きな寒川の子どもたちを育てるための前提条件として、

- ・家庭教育の向上に資するため、一体となって子どもの読書活動を推進する。
- ・学校や地域と連携する。
- ・子どもたちが読書を楽しみ、資料を活用した調べ学習に取り組むなどを通して、子どもたちの豊かな学びを応援する図書館を目指す、としました。

その結果、背景として、

- ・家庭教育: 多様化する家庭環境
- ・社会教育: 社会(地域)の持続的発展
- ・学校教育: 読書活動の推進

があるとして深掘(ふかぼり)を進めました。

## 2. 現状と課題、取組

P. 04

浮かび上がった3つの背景。  
順をおって、それぞれ、説明したいと思います。

## 2.現状と課題、取組

### 2-1.子どもたちが図書館へ足を運ぶ機会づくり

#### ・家庭教育:多様化する家庭環境

小学校低学年までは、父・母、  
祖父・祖母に連れられての来館が多い



## P. 05 [2. 現状と課題、取組]

「家庭教育:多様化する家庭環境」については、  
子どもたちが図書館へ足を運ぶ機会づくりに注目しました。 幼少期から親子で本に親しむことで、家庭教育は充実し、成長してからも読書習慣や図書館に足を運ぶことに繋がります。

そのために、幼少期から本の魅力を伝える活動は、重要です。  
調査したところ、小学校低学年までは、両親、祖父・母に連れられての来館が多いことから、大人が来館しやすい工夫も必要だと分かりました。  
つまり、連れてくる側の、来るきっかけ作りが欲しくなりました。

[未就学児や大人への図書館に来館する機会を多く作ること]  
図書館に興味を持って足を運んでもらうため、イベントを積極的に取り入れました。  
また、図書館で来館してくれることを待つだけでなく、子育て支援センターへ出向くなど、館外で本の魅力を伝える活動も重要であり課題です。

## 2.現状と課題、取組

### 2-2. 図書館のイベント(子ども読書推進事業)

#### ・社会教育:社会(地域)の持続的発展

- ◆ 図書館祭り
- ◆ わくわく読書マラソン



## P. 06 [2. 現状と課題、取組]

「社会教育:社会(地域)の持続的発展



P. 07 [図書館まつり]

#### ・社会教育:社会の持続的発展

イベントの事例紹介として、図書館まつりを紹介します

図書館まつりでは、図書館内で体験型のイベントを開催し、図書館に親しんでもらいます。

主な取り組み(コーナー)としては、

- ・わたしのおすすめ本
- ・ひと棚図書館
- ・ハロウィン仮装写真展
- ・としょかん川柳
- ・としょいん（御朱印の図書館版）

図書館まつりは、イベントとして成功しましたが、この集客が今後の図書館利用にどう結び付くか、注目しているところです。



## 2.現状と課題、取組

### 2-3.読み聞かせ活動(連携事業)

- ・家庭教育:多様化する家庭環境
  - ◆0歳児(ブックスタート)
- ・社会教育:社会(地域)の持続的発展
  - ◆公民館(図書館)との連携
- ・学校教育:読書活動の推進
  - ◆小学校での読み聞かせ

## P. 09 [2. 現状と課題、取組]

### 2-3.読み聞かせ活動(連携事業)

次に、読み聞かせ活動(連携事業)について、です。

- ・0歳児(ブックスタート)は、家庭教育(多様化する家庭環境)に、
- ・公民館(図書館)との連携では、社会教育(社会の持続的発展)と、
- ・そして、小学校での読み聞かせでは、学校教育(読書活動の推進)に関わることが分かりました。

読み聞かせ活動(連携事業)を通じて、背景にある「多様化する家庭環境」、「社会の持続的発展」、「読書活動の推進」について紹介します。

### ～0歳児(ブックスタート)～紹介

読み聞かせ活動(連携事業)

家庭教育:多様化する家庭環境

行政との連携事業

- ・0歳児(ブックスタート)

図書館:赤ちゃん、幼児向け

- ・おひざにだっこ
- ・おはなし会



## P. 10 [(0歳

#### ～公民館との連携～紹介

読み聞かせ活動(連携事業)

社会教育:社会(地域)の持続的発展

公民館と図書館との連携

各公民館に…  
・図書館を併設  
・子どものおはなし会開催



P. 11 [公民館(図書館)との連携]

続いて、

「読み聞かせ活動(連携事業)」での公民館(図書館)との連携ですが、寒川町では、総合図書館だけでなく、各公民館に図書館を併設しており、毎月、各館で子どものおはなし会を開催しています。

また、学区ごとに公民館が配置されているので、子どもたちには身近な図書館となっています。

授業で学んだことをその場で調べられる利点もあります。

課題としては、ボランティアの育成があります。

0歳児に本を親しませるブックスタートや、公民館や学校での読み聞かせ活動と連携しながら、図書館が中心となり、読み聞かせボランティアの育成を促進する取組が必要です。

――補足――

赤ちゃんを連れての参加も、移動が楽な事もあり、好評です。

毎月のおはなし会について調査すると、総合図書館と比べて北部公民館、南部公民館の参加者数が少ないのです。

#### ～小学校での読み聞かせ～紹介

読み聞かせ活動(連携事業)  
学校教育:読書活動の推進

小学校での読み聞かせ

図書館:  
“教科書に出てくる  
お話し”の展示



P. 12 [小学校での読み聞かせ]

中学校では、生徒と先生が静かに本を読む 10分間の朝の読書が定着しています。  
小学校では、読み聞かせ活動が行われています。  
そして、ボランティアが学校の読み聞かせ活動に参加しています。

学校での読み聞かせ活動から、子どもたちが自主的に図書館に行く、図書館に調べに行くということへ繋げて行きたいですね。  
図書館では各学年、教科書で取り上げられている「教科書に出てくるお話し」の展示を行っています。

課題として、学校図書室の活性化のため、学校図書室を総合図書館の分室にするといった発想の転換も必要、という意見もありました。  
学校では司書教諭や図書委員会の担当教員が、読書指導員や図書委員と連携をとって、児童生徒が 図書に親しむ工夫をしています。そのようなところを充実、強化していければ、学校だけではなく、図書館

### 3.事例紹介

学校と図書館の連携  
→児童・生徒が図書に親しむ工夫

#### ジュニア司書制度 目的と活動内容



P. 14 [3. 事例紹介]

児童・生徒(こどもたち)が図書に親しむ事例として、

・ジュニア司書制度

を推進しましたので、その紹介をいたします。 まずは、その目的ですが、…。

### 3.事例紹介:ジュニア司書制度

#### 子どもが主役

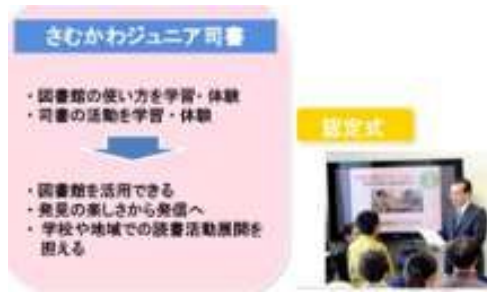
##### 目的



### P. 16 [3. 事例紹介]

次に、ジュニア司書制度について説明させていただきます。

ジュニア司書制度は、2016年7月(平成28年)に小学5年・6年生、10名で、寒川総合図書館が県内で初めて実施しました。

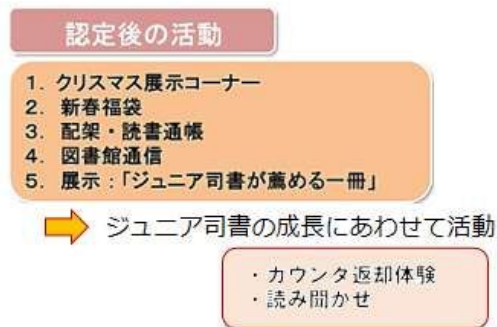


P. 18 (認定後の活動を説明する)

認定後のジュニア司書に期待することですが、自発的に…。

- ・図書館を活用できる
- ・発見の楽しさから発信へ
- ・学校や地域での読書活動展開を担(にな)える

など、となります。



#### 4.まとめ

P. 20

今まで、テーマの選定、現状と課題、取組、そして事例紹介を説明いたしました。  
ここからは、[本が大好きな寒川の子どもたちを育てる]ための、活動を振り返ってみま  
しょう。

#### 4.まとめ

活動を振り返って…  
本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために  
何ができるか、何をすべきか

児童・生徒が図書に親しむ工夫  
**今後の課題**



P. 21 [4. まとめ]

活動を振り返って…

本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために、何ができるか、何をすべきか、  
まとめに変えて、今後の課題についてお伝えします。

#### 4.まとめ:今後の課題

活動を振り返って  
児童・生徒が図書に親しむ工夫--

##### 4つの課題が見つかりました

- 1) 図書館ボランティアの育成
- 2) 学校図書室との連携
- 3) 地域の多様な主体との連携・共同
- 4) 図書館講座の開催

P. 22 [4. まとめ]

反省点を踏まえつつ、総合的に活動を振り返ってみると、4つの課題が見つかりました。

##### 1) 図書館ボランティアの育成

町民が身につけた知識や経験が生かせるよう、ボランティア活動の充実です。地域の読書活動推進の担い手として、子どもの読書活動や図書館サービスを支援するボランティアの育成を行います。

##### 2) 学校図書室との連携

子どもの読書活動を支援するため、学校と連携した取組の充実です。学校と連携し、子どもの読書活動の重要性に関する普及啓発を通じ、子どもの読書活動を推進します。

子どもの頃の読書体験が  
本のある豊かな人生につながります



P. 23 [4. まとめ]

子どもたちの読書活動推進のためには、幼い頃から読書に親しむ機会や環境が必要です。

小さいころから読書に親しむことは、子どもの成長や発達に重要な役割を果たし、その体験から大人になってからも学び続けることが可能です。

私たちの思いは…

本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために  
～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～



P. 24 [4. まとめ]

協議テーマである「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために」～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～では、取り組むべき課題として…、

- ・家庭では子どもの読書活動の推進、
- ・学校では学校図書館への支援、中学・高校生の利用者に対する図書館サービスの充実、
- ・社会(地域)では読書活動を推進するための個人、団体との連携や図書館からの情報発信の充実がありました。

また、図書館へ足を運ばない、読み聞かせや読書習慣のない子育て中の家庭に向けて、子育て支援センターや学校など、図書館以外の場で本に触れる機会を作るといった 総合図書館のア

----[補足]-----

学校図書室と総合図書館の連携について】

- ・中学校では、生徒と先生が静かに本を読む 10 分間の朝の読書が定着している。
- ・中学校の図書室は、新しい本が多く入るようになって利用が増えている。中学生は本に関心があるし、本を読んでいると感じている。

- ・学校教育の関係から、主体的で、対話的で、深い学びといったことを重視する流れがあります。

そのようなところを充実、強化していけば、学校だけではなく、図書館の果たす役割も非常に大きくなるのかなと思いました。

---0歳児(ブックスタート) 補足-----

これは赤ちゃんと保護者に絵本を渡し、絵本を開く楽しい体験と心触れ合うひとときを持つきっかけを作る活動で、平成19年12月から7か月児相談のときに実施しています。

読み聞かせをするのは、ボランティアスタッフ。

「ここに来ると子どもたちの無垢な動きや反応に触れられ癒される」と感想を話していました。